

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座【東青地区研修】

7月15日(金)13:00~16:00 県総合社会教育センター 受講者13名

### 1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

### 2 内容

【講義・演習】「ICTを活用した社会教育事業」

関東学院大学 教授 吉田 広毅 (よしだ ひろき) 氏



吉田 広毅 氏 (中央)

### 3 吉田氏講義要旨

- 社会教育における ICT 活用は、これまで「地域教材の教育利用」でも表れ、今日的には SNS 活用により情報発信の形で見るができる。
- 今後は、遠隔交流学习など「交流」「協働」「共創」をねらったものに、さらに活用されていく。
- 総じて、社会教育における ICT 活用の意義は、「学習」、「市民」、「先人」、「地域」等をつなぐことができることにある、と言えよう。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	50%	どちらかと言えば不満	0%
どちらかと言えば満足	40%	不満	0%

(無回答があったため、100%になりません。)

(受講者の感想)

- これからの公民館講座では、ICT が重要になってくると思う。講座を企画して、参加者が来るのを待っているだけでなく、自宅にいながら講座に参加できることが必要になってくると思う。今後の講座の企画立案のための内容として、役に立った。
- 反転学習が自分の担当事業に生かせるように思った。講師の協力が必要になるが、知識・技術を個別のオンライン学習で行い、協働的な学習を対面学習で行うことで、事業がより深まるのではないかと感じた。
- 学校における ICT しか考えてこなかったため、視点を変えて ICT を見直すことができたことは、大変良い機会となりました。ありがとうございました。
- 「needs」と「wants」の違いを明確に理解すると共に、様々な手法を用いて「needs」を把握して、住民の「wants」を引き出して行くことが大切であることが分かった。ICT系の事業は、どうしても対面と違い、一方通行な講義型になってしまいがちなので、受講者同士、講師と受講者との交流や、コメント等のしつかりとしたフィードバックについても大切に行きたい。

これからの事業展開でも、大きな部分を占めるであろう「ICTの活用」について、詳細なデータ及び考察をもとに御講義いただきました。学習の中心には、常に社会教育主事や教職員による「Coordinate (コーディネート)」「Facilitate (ファシリテート)」が必要であるとの講師の言葉は、私たち関係職員への励ましと同時に、強い期待感の表れと感じられました。